

第3回 学校運営協議会まとめ

第3回の学校運営協議会は、コロナ感染症まん延防止の観点から書面開催となりました。いただいたご意見をまとめさせていただきます。

○全般を通じて

■取組内容の自己評価について、評価指標として掲げられている数値目標と比べて結果がどうであったか、指標とした計画や行動の実施によってのみ評価されていることに若干の不安を感じました。計画・行動を整備・実施したことで全面 OK（終了）と評価されたのかなと感じる箇所がありました。よく陥りがちな、「整備・実施した」という事実のみに囚われてはいないでしょうか。その事実を元に次にどう活かすか、発展させないと本来のゴール（目標）達成には至りません。

■コロナ禍とはいえ、協議会は可能な限り対面で実施いただければと思います。

○確かな学力の育成と授業改善について

■△は通常の授業ができなかったことによると考えられ、次年度どのようにカバーしていくのが大切だと思う。

■創立50周年記念行事に ICT 機器の整備は、非常にタイムリーな企画だと思う。

■授業時間を70分に変更するなど柔軟な対応をされたこともよかった。

■次年度は ICT を活用した更なる進路学習や授業に期待しています。

○安全で安心な学校づくりについて

■ハード面、ソフト面とも、非常に◎が多くよかったのではないかな。

■次年度も引き続き、コロナ対策をしながらの学校運営になります。臨機応変な対応を余儀なくされることもあるかと思えます。堺東高校へ来て良かったと思う生徒が一人でも多く卒業していってくれれば嬉しい。

○夢の実現にチャレンジする積極的な生徒の育成について

■コロナで困難ななかであっても、体育祭などをのぞき、ほぼ例年と同程度であった。

■総合学科本来の生徒の自主性については、今までの恒例の行事に頼る事なく ICT 機器等を活用した新たな展開が大切なものになってくると思えます。生徒一人ひとりが、なりたい自分に対して模索しながらでも、少しでも自己実現出来るような支援を引き続きお願い

したい。

■すべての項目、様々な場面で地域や社会資源（人・施設等）の活用が今まで以上に必要と
なってきます。学力も大切ですが、いろいろな評価軸があってこそその総合学科だと思ってい
ます。「夢の実現」に向けて、前を走るのでもなく、後ろをついて行くのでもなく、横を走
りながら必要な助言などの伴走をお願いしたい。

■学校行事に対する評価が低くなっていますが、今期は「コロナ禍」でいたしかたないと思
います。しかし、中止となった行事も感染対策を充分に行い、やり方を工夫（個人・記録会・
リモート etc）すれば実施できたものもあったかもしれないと思います。

■コロナ禍で進路学習が中止や延期になったものも多いことから、将来について考える機
会が少なくなり、進路選択を広げることができない生徒やこだわりが弱くなる生徒が多く
なる状況ですが、生徒アンケート結果のキャリアガイダンスの項目が例年と同程度であっ
たことは効果的なガイダンスが行われていたものと感じました。

○開かれた学校づくりの推進と情報の発信

■地域行事もすべて中止となりましたが、今後とも連携 していければと思っていま
す。

■過去においても世界を揺るがすような政治的な事件や自然現象等の様々な出来事があっ
たのも事実です。事実は事実として認識しながら、イタズラに悲観的になることもなく、か
とって根拠もなく楽観的になることもなく、現実をしっかりと捉えながら、これからも堺
東高校が、地域に根ざした愛される高校であり続けることを切望して止みません。